

「今世紀最悪の人道危機」から解決なき終わりへ

膠着するシリア

トランプ政権は何をもたらしたか

四六判・並製・274頁・定価: 本体1800円+税

青山弘之【著】



トランプ政権下の四年間にシリアがどのような苦難を経験し、米国をはじめとする諸外国にどのように翻弄され続けてきたのかを、克明に記す――。

シリア内戦は、一〇年間に及ぶ重層的紛争の末に、混乱再発の火種を抱えたまま膠着してしまった。シリア政府、北・東シリア自治局、反体制派、そして紛争に関わる諸外国は、それぞれに理念や制度を実現しようと努力を続けているが、これら当事者の支配下に身をおく人々は、それを支持するか否かにかかわらず、日々の生活のなかで、この不断の試みに関与している。解決なき終わりを迎えるシリア内戦の、混迷と惨状を丹念に追いかけた精細な記録。

【目次より】

- 第一章 シリアと米国の関係
- 第二章 化学兵器使用疑惑とミサイル攻撃
- 第三章 「テロとの戦い」の決着
- 第四章 米国が後ろ盾となった国家内国家
—クルド民族主義勢力の趨勢
- 第五章 イランの封じ込め—イスラエルへのアウトソーシング
- 第六章 結託を強めるロシアとトルコ
- 第七章 世紀の取引
- 第八章 「シリア革命」最後の牙城をめぐる攻防

注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行: 東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559 FAX.042-330-5199
			青山弘之【著】 膠着するシリア トランプ政権は何をもたらしたか 四六判・並製・274頁・定価: 本体1800円+税
		冊	ISBN978-4-904575-91-8 C0031 ¥1800E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い